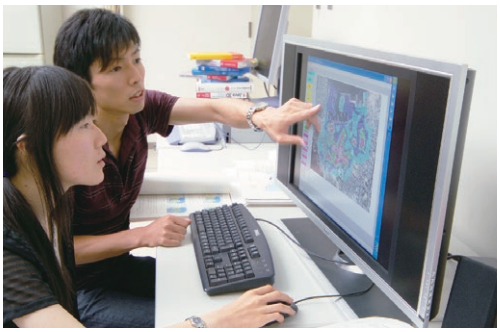
創造工学部・工学部



環境・建築、情報・電子技術、ロボット技術、新材料開発の工学教育。

工学部は、1997年10月1日に、新しい切り口の教育研究に関する方法・体制をもつ国立大学工学部として、技術者養成に対する最も新しい理念を掲げて創立し、昨年21年目をもって、学生募集を停止しました。今年度からは創造工学部を新設しましたが2021年3月までは旧工学部のカリキュラムの学生が就職対象となります。工学部の授業科目は各学科の専門科目に加え、多角的思考能力（環境・経済産業政策や工学倫理）、コミュニケーション能力（口頭発表や技術文書作成、ディスカッションの基本、国際コミュニケーション、技術英語）、数理的基礎能力（数学やプログラミング基礎）の科目群で構成されています。さらに産学連携研究や国内・国際インターンシップも教育プログラムに含まれており、幅広い教養と経験を身に付けた学生を輩出しています。

安全システム建設工学科

社会基盤や自然基盤、住環境の整備に必要な基礎的内容を教育しています。専門基礎知識として、構造力学、地盤工学、建設材料学、住環境学、環境生態学、測量学などの講義と、実験・演習や建築設計製図を行い、建設技術者としての基礎的な素養を身につけた人材を養成しています。指定科目を履修し卒業すれば、1級建築士を建築実務経験2年で、2級建築士および木造建築士はすぐに受験できます。

電子・情報工学科

情報工学系、電子通信工学系の学科です。信頼性工学の教育をとりいれ、安全で安心な情報通信システムの構築に関する技術を修得した人材を養成しています。卒業生は、「情報環境コース」（JABEE認定）と「電子情報通信コース」の学生に分かれていますので、採用される際には各コースの修得内容をご確認下さい。（参照:http://www.eng.kagawa-u.ac.jp/rise/kigyou.html）

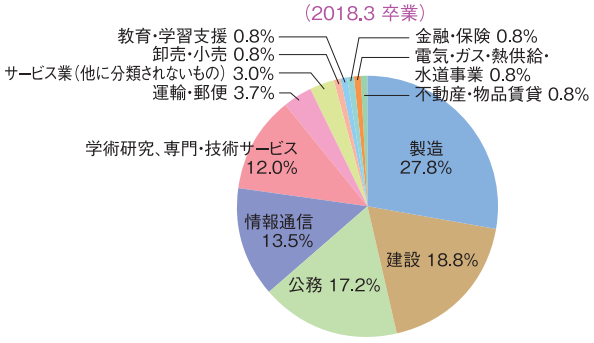
知能機械システム工学科

人と人工物が共生する新しい知能機械システムの構築を目指し、人間支援工学を中心に、機械・電子・制御技術を融合した教育研究を行っています。機械工学の基礎として力学、解析学、加工学、設計・製図の力を、知能工学の基礎として計測学や制御工学の力を養っています。さらに画像処理やロボティクス、ナノテクノロジーなど各分野の技術研究により、総合的な知識技術を持った人材を養成しています。

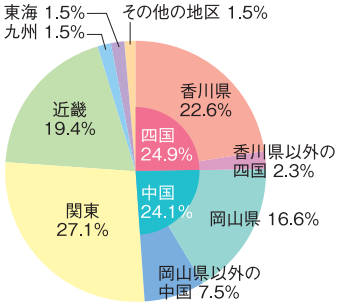
材料創造工学科

豊かで持続可能な社会の実現に貢献する新材料を創出するという視点から、「環境材料化学」「機械材料科学」「光・電子材料科学」の3分野の実践的な教育を行います。専門基礎知識として、無機化学、有機化学、電磁気学、力学、材料力学、熱力学、材料組織学、量子力学、固体物理学を、さらに専門科目を講義したうえで、実験・演習を行い、自然科学を基礎とした視野の広い技術者を養成しています。

業種別就職状況
（2018.3 卒業）



地域別就職状況
（2018.3 卒業 ※進学者を除く）



出身都道府県別卒業見込者数（2020.3）

香　川	74
岡　山	74
兵　庫	20
愛　媛	18
徳　島	16
広　島	15
京　都	8
大　阪	7
島　根	7
高　知	6
鳥　取	5
その他	36
計	286（人）

主な就職先

安藤・間、いすゞ自動車、NTN、奥村組、加藤製作所、北川鉄工所、クラレ、グンゼ、五洋建設、サノヤスホールディングス、山陽特殊製鋼、JR西日本、四国電力、島精機製作所、セイコーエプソン、大成建設、TIS、東洋建設、日本通運、萩原工業、富士ソフト、三浦工業、香川県庁、四国地方整備局、高松市役所 など

大学院《●博士前期課程 ●博士後期課程》

工学研究科

大学院工学研究科（博士前期課程（修士課程））は、工学部1期生の卒業に合わせて2002年4月1日に設置され、続けて2004年4月1日には博士後期課程（博士課程）が設置されました。本研究科の創設により、地域社会に学部と研究科から多くの人材を多層的に輩出することができ、これまで国立大学工学系の学部・研究科がなかった香川県の地場産業振興に大きなインパクトを与えることができるようになりました。

学生は、専門分野の最先端の講義に加え、継続的な英語学習、海外の協定校との国際インターンシップ、地元企業と連携したチームによる課題解決型のインターンシップ、修士論文研究、学会等での精力的な発表などにより課題発見・解決力、設計力、コミュニケーション力を備えた人材として育っています。

安全システム建設工学専攻

建築・土木分野に関する、より高度な専門知識と判断能力を有する人材を育成するため、「環境」・「安全」・「性能」を中心に据えた教育研究を実施しています。また、技術士補や土木学会認定技術者などの資格を取得するように学生を指導し、建築・土木分野の専門技術者として活躍できる人材を養成しています。さらに、指定科目を履修し修了すれば、建築実務経験年数0年で1級建築士を受験できます。

信頼性情報システム工学専攻

学部教育を発展させ、より専門性の高い情報技術者、電子通信技術者を育成しています。講義科目を通じて関連業界の業務に役立つ知識を修得し、学部教育だけでは不足する現在の最先端の技術について学びます。また、研究活動を通じてコミュニケーション能力、調査能力、設計能力、プレゼンテーション能力等を鍛錬し、情報通信分野における工学的問題解決能力を総合的に養っています。

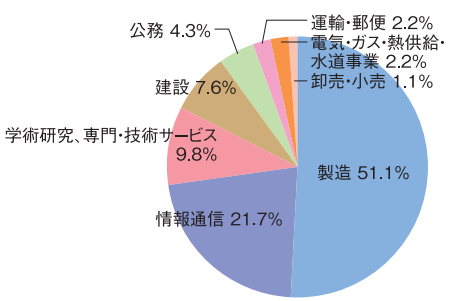
知能機械システム工学専攻

人と人工物が共生する新しい知能機械システムの構築を目指して、人間活動を支援するロボット工学やコンピュータ応用技術を追求し、人の活躍する空間を広げ、より豊かにする高度なメカトロニクスを中心にした研究を行っています。機械・電子・制御技術全般にわたる総合的な知識・技術を持ち、知能機械工学の分野の研究開発を主体的に行える人材を養成しています。

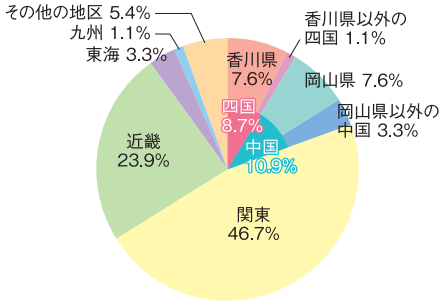
材料創造工学専攻

光・電子材料科学、機械材料科学、環境材料化学の三分野に関連する開発研究を推進できる専門性の高い科学技術者を育成します。省エネルギー、循環型、環境対応などを大目標として、金属系、セラミックス系、高分子系などの新素材の開発や、ナノテクノロジー、生体材料など、広い分野に役立つ新機能に関する教育研究を行っています。

業種別就職状況
（2018.3 修了、博士前期）



地域別就職状況
（2018.3 修了、博士前期 ※進学者を除く）



出身都道府県別修了見込者数（2020.3 博士前期）

岡　山	26
香　川	24
兵　庫	17
愛　媛	8
大　阪	5
愛　知	5
広　島	4
京　都	3
その他	19

計　111（人）

主な就職先（博士前期課程）

アマダホールディングス、いすゞ自動車、SCSK、大倉工業、ジェイテクト、新日鐵住金、新明和工業、セイコーエプソン、大王製紙、ダイフク、タダノ、ニコン、日本ピラー工業、パナソニック、日立製作所、富士通、マツダ、三井住友建設、三菱電機、明電舎、ユニ・チャーム、四電工、リコー、リョービ、香川県庁 など

※工学部・大学院工学研究科について、詳しくはhttps://www.kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_eng/をご覧ください。
また、創造工学部については、https://kagawa-u.ac.jp/kagawa-u_ead/をご覧ください。